

思いやりの心  
いたわりの心助け合いの心  
支え合いの心【発行】福岡県退職公務員連盟 会長：稲田 瑞穂  
事務局長：中葉 允雄 〒811-4227 遠賀郡岡垣町高陽台 1-20-14  
TEL / FAX : 093-282-5682

【編集・制作】株式会社ニチコミ 福岡市博多区博多駅東 1-13-6 竹山博多ビル 7F TEL : 092-292-6538

## 福岡県退職公務員連盟県大会



会長あいさつ

### 強い絆で支える明るい未来

10月4日（木）、福岡天神センタービルにて福岡県退職公務員連盟県大会を開催し、90名が参加しました。初の試みである県大会には、鬼木、古賀国会議員をはじめ多数の来賓にご臨席いただき、日頃の功績を称える功労者表彰や、稲田会長より「年金とこれからの退公連」と題し講話をしていただきました。福岡県退公連の結束を強める有意義な大会となりました。

今後の活躍に期待  
功労者表彰

来賓の皆さん



【特別公演】落語

三代目 風流亭艶笑  
(大牟田支部の石橋邦男氏)日公連の歌の指揮者  
栗崎イツ子氏

敬老行事では、退公連の各組織の皆さんに協力していただき、お祝いの品を袋詰めしました。

地域との関わりや福祉活動を通して、組織の強化に協力していきたい。

女性部の大きな事業としては、9月の敬老行事がある。白寿、卒寿、米寿、喜寿を迎えられた計60名の方に、賀寿の喜びを味わっていただいた。「敬老会」が大きく盛り上がったのも、各組織の力強い支えがあつてこそその成果である。

女性部は目的達成のための組織活動の一端を担い、各部門の密接な連絡、協議の上、実施するようして再出発した。

女性部の大きな事業として、9月の敬老行事がある。白寿、卒寿、米寿、喜寿を迎えられた計60名の方に、賀寿の喜びを味わっていただいた。「敬老会」が大きく盛り上がったのも、各組織の力強い支えがあつてこそその成果である。

今年度より「小倉・門司支部」を発足

活動の幅広げ  
組織力を強化、発展へ

女性部長 佐折 尚子

今年度から福岡県退職公務員連盟小倉・門司支部として組織強化活動、社会貢献活動に力を入れ、退公連の存在、今後の発展に寄与することを旨として再出発した。

に努めていく。

女性部の主な活動としては、5月に行われた小倉・門司支部役員、班長総会を基盤に、各組織における事業内容の分担に基づき役割を実践するよう努めてきた。

### 新支部長紹介



西区支部長  
成清 光任

#### ◎西区支部発展へ向けて

平成30年4月より支部長を任せていただき、早ら5月、事務局長も兼任している。支部長兼事務局長なのか、事務局長兼支部長なのか、自分自身もよく分かっていない。しかし、西区支部において大きな課題は、組織力の拡大と会員の確保である。

西区支部も数年前は100名を越していた会員数も今や80名弱である。超高齢社会においては仕方のないことかも知れない。幸い西区支部では総会後の懇親会、1日研修旅行、婦人部の懇話会等、内容は充実している。新会員を増やし、退公連支部会員で良かったと言えるために新しい風を入れ、楽しく西区支部に貢献していきたい。

さらに、支部役員・班長の力をお借りして、また福岡市他支部の実践に学びながら、昔の西区支部を取り戻したいという大きな夢を抱いている。



筑紫南支部長  
菅 勉

#### ◎会員増を目指して

このたび筑紫南支部長に任じられた菅です。どうぞよろしくお願いいたします。

退公連に入会後、これまでの輝かしい実績について諸先輩方に学ぶとともに、昨年は創立70周年記念式典にも出席させていただき、大変感動いたしました。

しかしながら会員の減少は著しく、当支部におきましても、この4年間で約30名の減少をみています。全国的なこの流れを止めない限り、退公連に将来はないと思います。

元々公務員は、私も言わぬやむゆの「営業」が苦手ですが、今最も重要なことは会員の増加です。友人、知人、後輩等に対し、一人ひとりが勇気をもって声をかけましよう。

「会員増なへくして、組織なし」を合言葉に、頑張つてまいりたいと思います。



鞍手支部長  
加留部 謹一

#### ◎お返しに生きる

公の職務を退き、内なる声が反響してきたのは、退職後の生活の安定と緊張感のある公務員精神の保持および健康の維持でした。

そこで長年公務員として生かされてきた身を思い、それに報いることが今からの生き方だと自分に言い聞かせてきました。

自訓「何事も一より始め十を知り、十より返るものその一」をもって「いただいたものはお返ししていく」の初心に立ち返り、公に関わる任務や役割を仰せつかること、断ることなく引き受けて、利他に生きることに努めています。

退公連の活動は、社会全体の生活保障制度を見据え、福徳一致の社会構築を図っていくことに使命があると考えています。そのために「お返しに生きる」を信念として、その献身的実践こそが心身の健康良薬になると自らを鞭撻しています。



柳川・みやま支部長  
徳永 俊一郎

#### ◎会員減少に歯止めを

本支部は以前、最大の会員数（平成18年495名、平成29年268名）でしたが、高齢化による退会、死亡、新加入者減等で大幅に減少しています。この流れをいかに止めるかが本支部の最大の課題です。本年度も班長さんを中心に新会員（36名）獲得に向けて努力をしています。すがなかなか難しい状況です。

退公連の存在感を高めるためには、会員にとって魅力ある活動を仕組んで連帯感を高める必要があります。そのため本年度は手始めに新会員を囲んでの懇談会を実施し親睦を図りたいと思っています。そして会員それぞれの知識・経験を生かした社会貢献活動（教育支援、自治会や老人クラブ、ボランティア、サークル等）に積極的に参加することにより、各自の生きがいにつなげていけたらと思っています。役員・班長と力を合わせて頑張ります。



豊前築上支部長  
百留 義信

#### ◎組織拡充と活性化

本年4月28日、本支部の組織拡充を訴え、呼びかけていた大先輩の松本支部長が永眠され、任務の重大さを覚悟した後を引き継ぐことになりました。

本支部の会員は、5年前の101名から64名になり、各地区班も22班から13班に減少しました。これは会員や班長の高齢化に伴い、会員相互の交流や活動に活気がなくなり、退会意識をもたらしたうえ、新入会員の勧誘も「なかなか進まなかった」からではないかと思えます。

今後、役員・班長が一致団結し、さらなる会員相互の温もりある絆を深め、退公連独特の魅力を語り合い、しっかり手を結び、会員が退会気分にならないようにつまみります。

また、会員の若返りのために、心新たに誠意をもって、退職校長会や多種公務員の方々に、入会の働きかけをしていきたいと思えます。組織拡充と活性化に努力していきます。

### 新事務局長紹介



城南区支部 事務局長  
門 悟

#### ◎仲間づくり

平成20年度に小学校長を定年退職してからはや10年目。昨年度から事務局長を担当しています。

城南区は60代前半の若い入会者がいますが、反面、死亡等による退会者もあり現在59名です。秋の1日研修の訪問先や内容を新しくしたり、広報紙を「会員の広場」として互いの近況報告や情報交換の場としたりして、仲間づくりを広げていけるように、事務局の皆さんと努力しています。



鞍手支部 事務局長  
藤淵 明宏

### 新組織部長紹介



若松支部 組織部長 大庭 宏之

#### ◎支部を支え地元之恩返し

平成30年度、退職公務員連盟若松支部に加入させていたいただきました大庭宏之です。昨年、到津小学校にて教職生活を終え、今は再任用新採指導教諭として勤めています。退職にあたりお誘いを受け、退職公務員連盟若松支部への加入を希望させていただきました。【以下省略】



鞍手支部 組織部長 樋口 孟

#### ◎会員増で支部を活性化

鞍手支部は会員が減少し、組織の弱体化が伺えます。若宮地区では、2名の方が新会員に加入されました。新会員が加入すると支部全体に活力が湧いてきます。私は微力ですが、今後とも組織部長として努力をします。



豊前築上支部 組織部長 釘丸 善明

#### ◎1人が1人の拡大を

大役を仰せ付かり、心機一転して会長とともに、支部組織拡大に「1人が1人の拡大」を目指して支部を活性化できたらと考えています。

筑紫北支部 組織部長 高木 正俊

### 平成29年度 日公連全国大会に参加して

田川郡支部 福澤 秀昭

11月10日の全国大会に福岡会長を団長として福岡県より6名参加した。9日16時、東京ガーデンパレス集合であったが、事務局の丁寧な乗換等が示されていたのでスムーズに行くことができた。夜の懇親会には、議員さんや秘書の方も見えて、有意義な情報交換ができた。懇親会の中では、どの地区の方も若かりし頃の苦労話で盛り上がった。私の歩んできた道と重なっていたので懐かしかった。全国大会当日は、午前中、今回の目的の1つである地元選出議員さんへの陳情である。人事院勧告の尊重、年金問題、高齢社会に対する対応、女性の働きやすい環境等、みんなが安心して働き、安心して迎えられる老後の制度についてお願いした。議員さんがいたところ、秘書対応のところがあったが、どちらも福岡からの私たちを手厚く迎えてくれたのは心強かった。この2日間で、年金問題、県内各支部の様子等を情報交換できて勉強になった。

### 新女性部長紹介



小倉・門司支部 女性部長 佐折 尚子

#### ◎絆を大切に、社会貢献活動を

今年度から門司支部とともに絆を大切にすることで支部活動の輪を広げ、組織を維持、発展させていきたいと願います。そのために、女性部としての社会貢献活動を通して退公連の存在感を高めていきたいと思えます。

### 糟屋支部

#### 支部の現状と課題について

糟屋支部 支部長 山野 芳朗



当支部は会員102名、10の班で構成されている。日常の活動は班を中心に、実情に即して実施されている。懇親会で会員相互の親睦を図る班、総会の際、総会資料に最新の年金や教育の情報を付けて発信する班、80歳以上の方に長生きの願いを込めて祝賀品を贈る等、それぞれに工夫した活動を展開している。本部は年3回班長、女

性部委員会を開催し、最新の国の動向を知らせたり、班の取り組みの交流の場を設ける等している。2年に1度の総会、研修会では、本年は県の稲田会長をお迎えして「年金改定など年金を取り巻く状況」を演題として記念講演をしていただいた。課題は山積しているが、まず行うべきは、会員数増加への取り組み、教職員に偏った会員構成の是正、社会貢献活動の支援等である。今後未知恵を出し合い、課題克服に向けての工夫、努力を続けていきたい。

### 八幡支部

#### 活発な活動で会員増に弾み

八幡支部 支部長 村尾 稔



県下で最も多い会員数の八幡支部ですが、今は400名を下回っていました。それでも昨年は15名、本年は14名の新会員を得たことは自慢できるとおもいます。近年、予算の切迫等のため改革を余儀なくされ、現在は次のような事業活動をしています。5月の役員総会・執行役員に正副班長の方々に集まっていたとき、年度

の行事等を審議、決定します。10月支部総会・敬老表彰を行い、懇親も図ります。11月はバスハイクで1日友好の旅です。12月は友愛活動で傘寿、卒寿の方を対象に、役員が訪問して記念品を贈り、絆を深めます。年2回、6月と12月に支部便り「やはた」を発行します。会員名簿の発行は、隔年発行です。退公連新聞の配布では、大部分を郵送にして、正副班長の負担を軽くできました。役を負った方々の献身的な尽力で、会活動は円滑です。

#### ◎めざす蜘蛛の網ネットワーク

本原稿を書き始めようとするとき、目の前の木に小さな蜘蛛が糸をせせと張っていました。その糸は全ての糸につながっていて、一般的に横糸は螺旋状になっているそうです。それは、まさにネットワークであり、スパイラルです。糸と糸との交わりの部分は、私たち一人ひとりを意味しているかのようです。このような蜘蛛の網のように、本区の会員がつながり、互いに理解し、励まし、助け合う支部になることを切に願っています。



支 部 長  
城南区 門 悟

### 福岡県選出 11名の議員に陳情

10月18日(木)に6名の代表団で、午前中は福岡県選出の11名の衆議院議員に「社会保障制度に関する要望書」の陳情をした。三原朝彦議員(9区)をはじめ



支 部 長  
八幡支 今尾 一成

### 陳情活動を全う 印象深い3つの出来事

10月18日(木)の午前国会内の議員会館の中で、三原朝彦議員の秘書の中心正義氏の案内により、陳情活動を全うしました。

午前の陳情、午後の大会の中で、印象に残っていることを3件あげてみました。  
まず、三原議員は、インドや東南アジアなどの各国

め4名の方に直接会うことができ、7項目の中で特に年金制度についてお願いした。第1、第2議員会館の階段を上り下りし足が疲れてきた私たちを秘書の方々

が気さくに歓迎し、話を聞いていただいた。  
午後からは、文京シビックホールでの全国大会に参加した。1000名を超える会員が各県のプラカードの傍に座り、40数名の国会議員の来賓紹介に大きな拍手が沸いた。「わ

内の各種の格差などの課題に関心を持ち、グローバルな視点に立った日本外交を模索するべきだと、熱く語られていました。

次に、麻生太郎議員の秘書である野田友視氏より、麻生議員は、北九州地区に企業誘致を図ることを大事に考えており、若戸大橋の無料化の実現も大変喜んでいらつしやる伺いました。

最後に、午後の大会の講演で、元厚生労働大臣で医学博士の坂口力先生は、癌治療について、2年以内

れらの信条」の読み上げ、8項目の「基調提言」の決議、元厚生労働大臣で医学博士の坂口力氏の「労働寿命と年金」という記念講演が続く。労働寿命の延伸こそが高齢社会に最も重要だとこの主張に大変納得した。

稲田会長、中葉事務局長に大変お世話になった2日間、感謝を述べたい。



支 部 長  
嘉穂山田 大里 茂晴

### 1000名が参加し 盛大に開催

10月18日(木)、福岡県退職公務員連盟の代表の一員として二日公連全国大会に

に参加する機会をいただきました。

文京シビックホールの会場は、全国から集まった1000名の会員で満席。多くの国会議員や来賓の方々のご列席の中、津島会長の所信表明、来賓祝辞、記念講演、基調提言と決議文朗読等、大変盛んな全国大会でした。

また当日は、議員会館内で福岡県出身の衆議院議員、参議院議員の事務所を

順次訪問し、社会保障制度についての陳情活動をすることもできました。

今回の全国大会参加は、私にとっては、日本退職公務員連盟の存在の大きさを実感した大会となりました。今後の支部活動に還元していきたいと思っております。

最後に、お世話をしていただいた県本部の役員の皆様方に、心から深く感謝申し上げます。



支 部 長  
行橋京都 徳永 文昭

### 労働寿命の延伸で 高齢化を乗り越える

10月18日(木)、午前9時より県本部の稲田会長以下6名で、本県選出の国会議員への陳情活動を行い、7項目にわたる要望書を提出しました。

午後の全国大会開会行事には、来賓として大島理森衆議院議長をはじめ多数の国会議員がご臨席さ

れました。

今回特に印象に残ったのは、元厚生労働大臣で医学博士の坂口力先生による「労働寿命と年金」という演題の記念講演でした。

現在のペースで高齢化が進めば、7年後には1人の高齢者を1.8名で支えることになり、2060年には1.2名で支えねばならなくなること。社会保障の行き着く先は「健康で、労働寿命を延伸すれば高齢社会は乗り越えられます。医療・介護の解決策が、年金制度を支えることにつながる」と結ばれました。

## 平成30年度 日本退職公務員連盟全国大会参加報告



10月18日(木)、平成30年度日本退職公務員連盟全国大会が、文京シビックホールにて開催されました。福岡県退公連からは、稲田会長を含む計6名が参加しました。